事業所名　カラフルブロッサム

支援プログラム

作成日　2026 年 10 月 22 日

法人（事業所）理念		子供達の最善の利益を保障します 一人ひとりの個性を尊重する居場所を目指します 子どもたちの『個性』・『自立』を大切に育みます 家庭支援を重視します
支援方針		集団活動とグループ活動、個別支援等、常に子供達に寄り添い、子どもたちの気持ちを汲み取りながら、粘り強い支援を行います。 日常生活に必要なスキルの向上、コミュニケーションスキル、運動、感覚統合、学習支援、自己表現、社会参加と地域交流を促進します。 保護者と学校・医療・地域・福祉施設等、連携し、利用児童の豊かな成長のためにチームとなり支援していきます。
営業時間	学校休日	9 時 0 分から 18 時 0 分まで
	平日	10 時 0 分から 18 時 0 分まで　送迎実施の有無　(あり)　なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	・健康管理：健康チェック　健康的な体つくりの支援 ・安全教育：安全に過ごすことが出来る居場所つくり。交通安全学習や防災訓練を通じて日常生活での安全意識に繋げる。 ・生活リズムの確立（ご家族と連携）睡眠のリズムや日常生活など規則正しい生活が出来るように促します。 ・情緒の安定：安心して過ごすことが出来るように支援する。
	運動・感覚	・運動プログラムでは、リレーや玉入れ、鬼ごっこやしっぽ取り、ダンスやヨガ　ストレッチ体操等を取り入れて、健康的な体力作りをサポートします。 ・感覚統合プログラムでは、触覚を刺激する遊びやトランポリン等を使った運動で、バランス感覚と空間認識を養います。 ・有酸素運動：事業所内や公園での遊び、しっぽとりやリレー等のプログラムを通じて、心肺機能の向上に取り組みます。 ・リズム遊びでは音楽に合わせたダンス等のプログラムを通じて、リズム感と協調性を育み、楽しく身体を動かします。 ・自然体験活動：アウトドア活動を通じて、自然との触れ合いを楽しみながら体力と自立心を養います。
	認知・行動	・認知スキルの向上：知育玩具、クイズ等のプログラムを通じて問題解決能力を育みます。 ・学習支援：宿題のサポートを中心に、学習の習慣化を促し、基礎的な学習スキルを強化します。 ・行動療法：ポジティブな行動支援や構造化環境で、望ましい行動を促し、安心できる環境を提供します。 ・社会的スキルの育成：ソーシャルスキルトレーニング（SST）や役割遊びを通じて、友達とのコミュニケーションや協力の仕方を学びます。 ・自己調整スキル：感情の認識とコントロール、タイムマネジメントを伝え、自己調整力を高めます。 ・モチベーションの向上：スモールステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで自信をつけて、必要に応じトークンエコノミー等の手法を用いて動機付けを図ります。
	言語 コミュニケーション	・言語発達支援：語彙力向上のために楽しい言葉遊びや単語ゲームなどを通じて、正しい言葉の使い方を学びます。 ・コミュニケーションスキルの向上：SSTや日々の友だちとの関わり、必要に応じたフィードバックを通じて、日常会話のスキルと社会的な適応力を学びます。 ・非言語的コミュニケーション：ジェスチャーや表情、アイコンタクトを通じて、言葉以外のコミュニケーション方法を学びます。 ・支援技術の活用：絵カード等視覚支援を活用して、言葉が難しい子どもたちのコミュニケーションを支援します。 ・グループ活動：協力型のゲーム等のプログラムを通じ、他者との意見交換や協力の具体的方法を学びます。
	人間関係 社会性	・SST：挨拶や自己紹介、感謝や謝罪などの表現を学び、友だちとの関わり方を体験します。 ・協力活動：製作活動やグループゲームを通じて、友達とのやり取りを楽しみながら、チームワークと協調性を育みます。 ・社会参加活動：地域のイベントやボランティア活動に参加し、社会とのつながりと社会貢献の意識を育みます。 ・コミュニケーションの機会：対話の時間を設け、意見交換やコミュニケーションのスキルを養います。 ・エンパシートレーニング：絵本や紙芝居、絵カードを活用して共感の練習を行い、他者の気持ちを理解する力を養います。 ・自己肯定感の育成：成功体験の共有や日常的に褒められ、褒める体験を通じて自己肯定感を高め、互いの成長を喜び合う機会を提供します。

家族支援	・送迎時に必要に応じ、家庭や学校の様子を共有する時間を設け、事後の療育活動での関わりに活かします。 ・定期面談：定期的な面談を通じてお子さんの成長や課題について保護者と話し合い、心のケアをサポートします。 ・家庭での支援方法の提案：保護者の悩みなどを傾聴し行動管理の方法を提案し、家庭でも継続的に子どもを支援できるようサポートします。 ・情報提供：必要に応じ最新の情報支援方法を共有し、家族の知識を深めます。	移行支援	・社会見学などを通じて社会を学ぶ機会を提供します。 ・生活スキルの向上：金銭管理や家事スキルの活動プログラムを設定し、自律的な生活を送るため基本的なスキルを育てます。 ・自己理解と自己決定：自分の強みや希望を理解し、自分で決める力を育てる支援を行います。 ・支援機関との連携などを通じて、継続的なサポートが受けられる環境を整えます。
地域支援・地域連携	・地域の施設利用:図書館や体育館等、地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。子ども食堂の開催。 ・地域連携の強化：地域の学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。 ・情報提供と啓発活動：SNSの積極的な活用により、地域に活動内容や障がいについての理解を広めます。 ・緊急時の地域連携：地域と連携した防災訓練や緊急支援ネットワークを構築し、災害時の対応力を高めます。	職員の質の向上	・定期的な研修と教育：専門的な研修やケーススタディを通じて、最新の知識と実践的なスキルを学んでいます。 ・資格取得支援制度：資格取得のための費用補助や学習支援、資格講座の受講を促し、職員の専門性を高めます。 ・継続的な学びの場の提供：勉強会や研修、専門図書を提供し職員が自主的に学び続ける環境を整えています。 ・職場環境の改善：働きやすい環境の整備をし、職員のストレス軽減を図っています。
主な行事等	月間プログラム掲示 お誕生日会　ハロウィンパーティー　クリスマス会　お餅つき大会　工作教室　化石発掘体験　映画鑑賞　遠足 3事業所合同：さつまいもの苗植え・お芋掘り　じゃがいも掘り　みかん狩り　カラフルフェスタ 地域とのつながり：子ども食堂（カラフル食堂・カラフルドリーム食堂）　地域イベントへの参加・出店　防犯学習 長期休暇は、社会体験学習、工場見学、プール		